

*アカデミー賞に輝く映画史上空前の大ロマン!

白銀の鎧に身をかため
母国フランスの危機を背に
今バグマン＝ジャンヌ・ダークの
愛と情熱が炎と燃える!

ジャンヌ・ダーク＝
イングリッド・バーグマン
ホセ・フェラー
監督「風と共に去りぬ」の
ビクター・フレミング

製作 / ウォルター・ウェンジャー
原作 / マックスウェル・アンダーソン
撮影 / ジョゼフ・バレンタイン
" / ウィントン・C・ホック
" / ウィリアム・V・スカル
衣裳デザイン / カリンスカ・ドロシー・ジーキンス

アカデミー賞3部門受賞
特別賞
テクニカラー撮影賞
衣裳デザイン賞



ジャンヌ・ダーク

<テクニカラー>

JOAN OF ARC

提供 / インターナショナル・プロモーション



ジャンヌ・ダーク


〈テクニカラー〉

★スタッフ★

製作……ウォルター・ウェンジャー
 監督……ビクター・フレミング
 原作……マックスウェル・アンダーソン
 脚色……アンドリュウ・ソルト
 撮影監督……ジョセフ・バレンタイン
 音楽監督……エミール・ニューマン

★キャスト★

ジャンヌ・ダーク……
 イングリッド・バーグマン
 イザベル・ダーク(母)……セルマ・ロイル
 ジャック・ダーク(父)……
 ロバート・バラット
 皇太子……ホセ・フェラー
 デュラン・ラクサル……ロマン・ポーネン

提供インターナショナルプロモーション 



★「ベルサイユのばら」の感動を凌ぐ大ロマン！
 日本中のヤングレディを熱狂させた「ベルサイユのばら」。
 愛・青春、悲劇に彩られたその大ロマンにも似てヤングマンの「ジャンヌ・ダーク」は、さつそうと光り輝く。ほとぼる情熱のすべてを白銀のよろいに賭けたバーグマンは「カサブランカ」、「凱旋門」と一味違った清冽な美しさをふりまいている。
 レミングは「風と共に去りぬ」でアカデミー監督賞に輝く名匠ビクター・フレミング。テクニカラー超大作
 上映時間二時間三〇分

★ジャンヌ・ダークの情熱と青春が炎と燃える！

十五世紀のフランスは王位を継承したヴァロア王朝に対しイギリス王エドワード三世が介入し、史上名高い百年戦争の戦場と化していた。
 その頃ロレーンの農村に住む十六才の娘ジャンヌ(イングリッド・バーグマン)は祖国の運命を案じて祈りを捧げていたが、その度に聖者の声が「軍に身を投じ、フランスを勝利に導き、皇太子を即立させよ」と神の啓示を伝え、四年の間彼女の心を揺さぶり続けていた。
 オルレアンでの戦いでフランス軍が大敗するや、ジャンヌはシノン城の皇太子(ホセ・フェラー)に直訴するが、皇太子は軍の指揮権をジャンヌに与え、進軍の号令を下した。
 その噂はたちまちフランス全土に広がり、救国の念に燃える人々が軍隊に集まってきた。フランス軍は反撃を開始し、オルレアンの包囲を解いてパリへ進撃した。
 こうした状況の中で皇太子はシャルル七世として即位し、イギリスと休戦協定を結んだ。
 なおも戦い続ける決意を固めたジャンヌだったが、イギリス軍に捕えられ、ルーアンで宗教裁判にかけられた。英雄ジャンヌに嫉妬する新王は救いの手をさしおくれなかった。宗教裁判は回を重ね、司教ら判事は彼女を悪魔に魅せられた魔女として死刑を求刑。神の啓示を否定するか、死を選ぶか、苦悩するジャンヌ。
 だが、彼女は信念にしがたがって死を恐れず火刑台に立つ決心をした。真つ火に燃える炎がジャンヌはつつんだ。それは鮮烈に生きた青春の終りであった。

「青春」の象徴バーグマン

映画評論家 南 俊子

ある世代の者にとって、イングリッド・バーグマンは、まぎれもなく「青春」の象徴である。
 あのころ、私たちは若かった。まだ若い私たちにとって、バーグマンはまぶしく慕われ、畏敬にも似た存在であった。戦後の混乱期の1940年代の後半、ふるえる感動で私たちがむさぼり見たアメリカ映画に、彼女こそは最初に登場した大スターであったのだ。
 理知と気品を彫りこんだ美貌は、みずみずしく吹きこぼれ、輝くばかりの魅惑であった。彼女は憧れのひとだった。男にとっても女にとっても憧れの、永遠の女性。像であった。「青春」が私たちにとって、追憶にきらめく、いとしく高貴な宝石なら、その私たちの心の宝石の部分に、いまなお住むひとがバーグマンなのだ。
 彼女は「生の最後の日まで演技した」と、墓碑名に記したいという。そうしたバーグマンが、いわば匂い立つ花のさかり、スターとしての最頂期に、全身全霊をこめて打ちこんだのが、この「ジャンヌ・ダーク」である。神の啓示によって、祖国を滅亡の危機から救いながら、ついに信仰を棄てきれず焚刑に処せられた、悲劇の「聖者」役は、まさしく彼女にふさわしい。
 女優としての崇高なまでの情熱ゆえに、女としての恋にも激しく燃えたバーグマンは、だが俗な男の欲望を、ふしぎに浄化する清濁を持つ。時代は移り変わろうとも彼女は、常に若者たちが本能的に求める、永遠の女性。であろうと思う。

「カサブランカ」「凱旋門」に続くバーグマン・ロマン第三弾

3/23日大ロングラン・ロードショー

月～金	1:00	3:50	6:40	
土・日・祝	10:10	1:00	3:50	6:40

於・労音会館 (265) 6361 →

特別鑑賞券 ¥ 800 (大人 1000 学生 900 の処) 好評発売中 (都内各プレイガイド お問合わせは (563) 6043 ウィズダムへ)

